

## 2月10日：優良大型株を中心に下落

昨日は優良大型株を中心に幅広く売りが広がり、VN インデックスは前日から 1.07% 下落し 930.73 ポイントで引けた。

ホーチミン市場の売買代金は前日の 3.1 兆ドン（1 億 33 百万ドル）から 2.19 兆ドン（94 百万米ドル）に減少し、過去 2 週間で最低水準となった。

ホーチミン市場では 220 銘柄が下落したのに対し 122 銘柄が上昇した。大型株 30 銘柄からなる VN30 指数は 1.23% 下落し、22 銘柄が下落したのに対し上昇したのは 3 銘柄だった。

VN30 指数では銀行株がすべて下落し、資産規模で上位 3 行の一つである BIDV 銀行（BID）は 5% 下落した。他の 2 行もベトコムバンク（VCB）が 1.2%、ベッティンバンク（CTG）が 1.1% それぞれ下落した。

他に下落した大型株ではバオベト（BVH）が 3.8%、準大手銀行の VP バンク（VPB）が 3%、ビンコムリテール（VRE）が 2.8% それぞれ下落した。

モバイルワールド（MWG）、ペトロベトナムパワー（POW）などもそれぞれ 2.7%、2.3% 下落した。

ホーチミン市場の時価総額の上位 2 社であるビンググループ（VIC）と、不動産子会社のビンホームズ（VHM）はそれぞれ 0.6%、0.9% 下落した。

ベトナム最大のビールメーカーであるサイゴンビール（SAB）と食品コングロマリットのマサングループ（MSN）は変わらずだった。

不動産デベロッパーの FLC ファロス建設（ROS）とコテコン建設（CTD）は急騰し、制限値幅いっぱいまで上昇した。

ROS は VN30 銘柄の中で、過去 1 か月で最も値下がりが大きい銘柄だった。

CTD も 2019 年は不動産市場の減速と建設資材の高騰を受け、四半期決算ごとに減益となっていたことから第 4 四半期に大きく下げている。しかし先週水曜日からは反発し 4 営業日連続で上昇した。

中小型株中心のハノイ取引所では、HNX 指数が 0.9%下落し、UPCOM 指数は 0.7% 下落した。

外国人は 4 日連続で売り越していたが、昨日は 300 億ドン（129 万ドル）を買い越した。主な買い越し銘柄はビンホームズ（VHM）、ホアファットグループ（HPG）などだった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。